

<役割>

ユネスコ創造都市ネットワーク (UCCN: the UNESCO Creative Cities Network) は、2004年に発足し、経済的、社会的、文化的、環境的側面において、創造性を持続可能な開発の戦略的要素として認識している都市間の協力を強化することを狙っています。

このネットワークに参加することで、各都市は優良事例を共有して、創造性と文化産業を促進するパートナーシップを構築し、文化的生活への参加を強化し、都市開発計画に文化を統合します。

さらに、本ネットワークは、国連の枠組み、特に「持続可能な開発のための2030アジェンダ」を支持することを約束します。ユネスコ創造都市ネットワークは、7つの創造的な分野を対象としています。：クラフト&フォークアート、デザイン、映画、食文化、文学、メディアアート、音楽

<目的>

ユネスコ創造都市ネットワークは、以下を目的としています。

- ・創造性を持続可能な開発の戦略的要素として認識している都市間の、国際的な協力関係を強化する。
- ・創造性を都市開発の重要な要素とするために、特に、公共部門、民間部門、市民社会が関与するパートナーシップを通じて、加盟都市が主導する取組を促進し、強化する。
- ・文化的活動、商品及びサービスの創造、生産、流通及び普及を強化する。
- ・創造性と革新性の拠点を開発し、文化部門におけるクリエイターや専門家のための機会を拡大する。
- ・特に社会的に疎外された、あるいは脆弱なグループや個人のために、文化的商品とサービスの享受だけでなく、文化的生活へのアクセスと参加を改善する。
- ・文化や創造性を地域の開発戦略や計画に完全に統合する。

<活動分野>

ユネスコ創造都市ネットワークの目的は、特に以下の活動分野を通じて、加盟都市のレベルと国際レベルの両方で実施されています。

- ・経験、知識、優良事例の共有
- ・公共・民間部門や市民社会と連携したパイロット・プロジェクト、パートナーシップ、取組
- ・専門家や芸術家の交流プログラムおよびネットワーク
- ・創造都市の経験に関する調査、研究、評価
- ・持続可能な都市開発のための政策や施策
- ・コミュニケーションと意識向上活動

前回の小委員会における主なご意見・ご提案 ①

◎ 前回の小委員会では、ユネスコ創造都市の活性化に向けた今後の方向性について、以下の2つの観点からご審議いただいた。

① ユネスコ創造都市における今後の取組について

・UCCN(ユネスコ創造都市の国内ネットワーク)の活性化に向けて、他の好事例を積極的に研究し、国内及び国際交流を活性化していくことについて。

② 文部科学省の今後の取組について

A ユネスコ創造都市に対する支援

→ ユネスコ創造都市の取組を積極配信、ユネスコ関連の取組との連携促進、フォロー等を実施。

B ユネスコ創造都市を希望する地方自治体(文化芸術創造都市等)に対する支援

→ CCNJ(文化芸術創造都市の取組を推進する自治体等による全国的・広域的なネットワーク)や文化庁との連携を深め、我が国としてふさわしいユネスコ創造都市の育成・創出を後押し。

◎ 前回の小委員会における主なご意見・ご提案は次のとおり。

1. 広報に関するご意見(知名度向上、次回の選考に向けた準備など)

- ・自治体への制度の周知や加入の促進のためには、CCNJの協力は極めて効果的。
- ・ユネスコ創造都市ネットワークは、知名度が低く、市民にも知られていない。現在、創造都市の推進は、地域振興策として、市と地元企業が中心となって進められているが、市民参加により、ユーザーとしての意見の反映したり、広報の役割として活用すべき。官民、市民が一体となって推進することが大切。
- ・広報・啓発は、一般により広く知ってもらうことのみならず、より自治体からの応募を増やすことが目的。
- ・マスコミの注目が知名度向上につながる。例えば、ユネスコ事務局の責任者を招待することも一案。
- ・各自治体において、世界のネットワークを活用して日本の文化を発信し、情報交換を行うことがある。具体策は現地(各自治体等)に任せるとよい。
- ・書類審査のみならず、現地訪問により、現地の熱意や、期待される今後の発展性を確認することが大切。世界に日本の文化を発信できる自治体を、ユネスコ創造都市として推薦することが望ましい。
- ・日本から文学分野での登録はない。ぜひ御検討ください。

◎ 前回の小委員会における主なご意見・ご提案(前ページの続き)。

2. 人材育成に関するご意見

- ・ユースの世代に着目する必要がある。持続可能な地域づくりのために、世代横断的な人材育成の視点や、ユネスコスクールの浸透が重要。

3. 多様な主体との協働に関するご意見

- ・教育委員会を含む行政、地元企業、各地のユネスコ協会等、多様な市民からなる推進委員会等の協力体制を作り、意義を共有した上での連携が重要。持続的に盛り上げるためには、現地の創造意欲を生かして、統一したテーマの下に、市民が参画するイベントが有効。
- ・ユネスコ創造都市ネットワークは、知名度が低く、市民にも知られていない。現在、創造都市の推進は、地域の振興策として、市と地元企業が中心となって進められているが、市民参加によって、ユーザーとしての意見の反映、広報の役割を活用すべき。官民、市民が一体となって推進することが大切。 ※再掲

4. 国や国内委員会の役割に関するご意見

- ・具体策は自治体自身に任せるべき。
- ・国内委員会は、トップダウン型のオペレーションは行わず、基本的な仕組みづくり、ベストプラクティスの紹介、現地支援を行うこととして、具体的な活動は、各自治体の創造力や知恵を生かすことがよい。
- ・魅力自体は、登録自治体等にお任せしてすることが良いというご意見に賛同するが、それを国際的にうまく伝えるための手助けや、方策があればよい。
- ・いかに国際的に見せていくか、あるいは国際的に意味があるものにしていくかという観点が重要。この点について、国がどのように支援できるのか。

前回の小委員会後の文部科学省における主な取組

多様な主体との連携を進め、今後、ユネスコ創造都市を希望する可能性のある地方自治体（文化芸術創造都市等）に対する情報発信や、すでにユネスコ創造都市に加盟登録済の自治体への支援を行っている。

① ユネスコ創造都市加盟自治体、文化庁にご協力頂き、CCNJ加盟自治体に積極的な広報を展開

→ CCNJセミナーの時間を頂き、ユネスコ創造都市について周知（使用資料はP5～13）。

今後実施予定。

※ 資料作成にあたっては、各自治体のご担当者様から、多彩なお取組、自治体として感じている登録メリット、今年度のイベント情報（多様な主体との協働、人材育成施策等）について、ご教示頂いた。

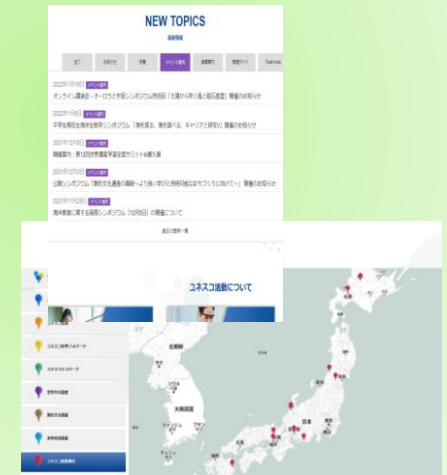
② 文部科学省WEBサイト等の充実

→ ユネスコ創造都市加盟自治体にご協力をいただきながら充実を図っている（右図）。

文部科学省WEBサイトに、新たに、ユネスコ創造都市加盟自治体情報を直接リンク

ユネスコ共創プラットフォーム（＝国内のユネスコ関係総合サイト）に情報を掲載

※ユネスコ創造都市加盟自治体自身による投稿も可能



【特にご議論いただきたい点】

→ 民間団体を一層巻き込んだ形での多様な主体との協働や、国際発信等について、引き続き、ご提案やお取組内容等を頂けますと幸いです。

1. 概要

- ・ユネスコの事業として2004年に創設（条約に基づかない事業）。
- ・創造性(creativity)を核とした都市間の国際的な連携により、地域の創造産業の発展を図り、都市の持続可能な開発を目指す。
- ・各都市は同ネットワークを活用し、知識・経験の交流、人材育成、プログラム協力などを実施。
- ・世界の加盟都市は90か国295都市（2022年8月現在）
- ・7分野（文学、映画、音楽、クラフト&フォークアート、デザイン、メディアアート、食文化）のいずれかに分類。
- ・例えば、映画分野ではカンヌ（フランス）、音楽分野ではリバプール（英国）、食文化では成都（中華人民共和国）等が登録。

2. 選考

- ・原則2年に1回、ユネスコが公募。1国あたり2件まで申請可。
（公募内容はユネスコにて検討）
- ・次回の申請は、2023年を予定。
- ・日本ユネスコ国内委員会による国内公募、選考を経て、自治体が国内委員会の推薦状を添付の上、直接ユネスコへ申請。
- ・4年に1回、ユネスコへモニタリングレポートの提出が必要。
- ・毎年、加盟都市の持ち回りで開催される「ユネスコ創造都市ネットワーク年次総会」への参加が期待される。



カンヌ（2021年、映画）



リバプール（2015年、音楽）



成都（2010年、食文化）

<参考：前回（2021年）における加盟までのスケジュール>

- ・2021年4月21日 新規加盟申請の国内公募開始
- ・同年5月26日 国内公募〆切
- ・同年6月29日 日本ユネスコ国内委員会が臼杵市をユネスコへ推薦することを決定
- ・同年6月30日 臼杵市がユネスコに申請書を提出
- ・同年11月8日 ユネスコがWEBサイト上で加盟認定結果を公表

3. 国内のユネスコ創造都市（10自治体（2022年8月現在））

神戸市（デザイン）、名古屋市（デザイン）、金沢市（クラフト&フォークアート）、札幌市（メディアアート）、鶴岡市（食文化）、浜松市（音楽）、丹波篠山市（クラフト&フォークアート）、山形市（映画）、旭川市（デザイン）、臼杵市（食文化）

※ 全て文化芸術創造都市と重複（CCNJ加盟自治体）

山形県山形市 (2017年、映画)



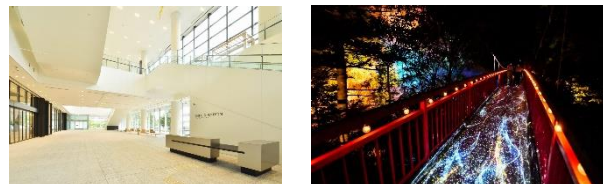
北海道旭川市 (2019年、デザイン)



山形県鶴岡市 (2014年、食文化)



北海道札幌市 (2013年、メディアアート)



石川県金沢市
(2009年、クラフト&フォークアート)



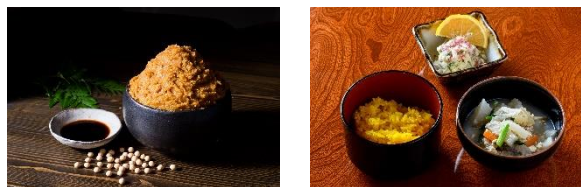
静岡県浜松市 (2014年、音楽)



愛知県名古屋市 (2008年、デザイン)



大分県臼杵市 (2021年、食文化)



兵庫県神戸市 (2008年、デザイン)



兵庫県丹波篠山市
(2015年、クラフト&フォークアート)



※ 加盟自治体からお話を伺い、文部科学省がとりまとめたもの

加盟自治体からは、以下のような取り組みがしやすくなったとのことがあった。

1. 他地域への発信、他地域との連携

① 世界に向けて、自治体の取組や魅力の積極発信・共有が容易になる。

(ユネスコ創造都市ネットワーク年次総会(世界会合)、ユネスコHPなど、様々な場を通じた発信が可能。世界的な先進事例として、国の資料等での活用機会の増加)

② 国内外の他のユネスコ創造都市との交流や情報交換がしやすくなる。

(合同イベントの開催、好事例の共有、同分野での海外の加盟自治体の取組に目を向けるきっかけとなる 等)

2. 市民の意識向上、自治体内での調整

① 国際組織からの認定(客観的に認定されること)は、インパクトが大きく、市民の誇り、郷土の良さの再確認に直結する。

② 行政機関として、ユネスコ創造都市や、登録分野という切り口に立脚した取組がしやすくなる。

(認定されることで、具体的な取組に結び付けやすくなる)。

- ・地元企業、民間団体、学校、地域ぐるみで取り組む際の関係者へのアプローチ
- ・国内外の専門家を招聘、国際社会に向けて地元の専門家を派遣する際の調整
- ・人材育成、産業振興、文化振興等に関する予算の確保

文部科学省やユネスコ国内委員会においても積極発信を支援



文部科学省WEBサイトに、ユネスコ創造都市加盟自治体情報が直接リンク

ユネスコ共創プラットフォーム(=国内のユネスコ関係総合サイト)への情報掲載

※ユネスコ創造都市加盟自治体自身による投稿も可能

その他、国の会議(ユネスコ国内委員会文化コミュニケーション小委員会)においても、複数のユネスコ創造都市加盟自治体にご発表頂いております。(→その後、文部科学省WEBサイトに情報掲載、発信)

ユネスコ創造都市への加盟により、創造性(creativity)を核とした国際連携、多様な関係者との協働を図り、地域の創造産業の発展、都市の持続可能な開発につなげませんか。

国内のユネスコ創造都市の主な取組①（2022年度（2022年4月～2023年3月））

令和4年8月
CCNJ創造政策
セミナー資料

日時	(主催)自治体	内容	関連URL	備考 (他自治体との連携等)
2022年5月 28日・29 日・11月	丹波篠山市 (主催：丹波 篠山クラフト ヴィレッジ製 作委員会)	丹波篠山クラフトヴィレ ッジの開催	https://tourism.sasayama.jp/craftvillage/	
2022年6月 15日～26日	旭川市	ユネスコ創造都市ネット ワーク (UCCN) パネル展	https://adwhokkaido.com/cat-exhibition/410	世界14デザイン都市と、旭川市以外の国内の加盟都市(9創造都市)のパネル展示
2022年6月 18日	旭川市	デザイン都市旭川シンポジ ウム	https://adwhokkaido.com/symposium/168/	
2022年6月 18日～19日	旭川市	まちなかキャンパス2022	https://adwhokkaido.com/workshop/395/	
2022年 6月18日～ 26日	旭川市	あさひかわデザインウィー ク2022	https://adwhokkaido.com/	東川町、東神楽町、美瑛町、当麻町の事業者がイベント参加により連携
2022年6月 26日	旭川市	ユネスコ・デザイン都市国 内3都市セッション2022	https://adwhokkaido.com/seminar/408/	国内デザイン都市の名古屋市・神戸市と共同開催

国内のユネスコ創造都市の主な取組② (2022年度 (2022年4月～2023年3月))

令和4年8月
CCNJ創造政策
セミナー資料

日時	(主催) 自治体	内容	関連URL	備考 (他自治体との連携等)
2022年 7月～8月	札幌市	メディアアート創造都市札幌の人材育成ワークショップ 「Creative Knock 2022 ―ゼロからはじめるCG製作―」(全3回) ※11月成果発表会実施、2月街なかで展示予定	https://www.city.sapporo.jp/kikaku/creativecity/event/creativeknock2022.html	
2022年7月～ 2023年3月	臼杵市	市民を対象とした、創造都市や本市の歴史、食文化についての講座(全10回)	https://gastronomy-usuki.com/	概ね月1回開催
2022年7月～ 2023年3月	名古屋市	「アッセンブリッジ・ナゴヤ」港まちAIR、オープンスタジオ、レジデンス・アンサンブル・プロジェクトなど	http://assembly.nagoya/	
2022年8月以降 随時	浜松市 (主催：はままつクリエイティブシティブスター事業実行委員会)	はままつクリエイティブシティブスター事業(創造的な活動をする人財発掘のため、他分野にわたるワークショップを開催)	https://www.creative-hamamatsu.jp/projects/hcb/	

国内のユネスコ創造都市の主な取組③ (2022年度 (2022年4月～2023年3月))

令和4年8月
CCNJ創造政策
セミナー資料

日時	(主催) 自治体	内容	関連URL	備考 (他自治体との協働等)
2022年8月2日 ～8月7日	浜松市	第28回浜松国際管楽器アカデミー & フェスティバル (世界トップク ラス教授陣による演奏家育成及び コンサートの開催)	https://hamamatsuwindacademy.com/	公益財団法人浜松市文化 振興財団、ヤマハ株式会 社、一般財団法人ヤマハ 音楽振興会自治体との共 催
2022年 8月4日	丹波篠山市 (主催：チェ ンマイ市)	“Creative Ceramics, Sculpted City” International Capacity Enhancement Workshop for Artisans and Craftsmen with UNESCO Creative Cities Network (Ceramics)に参加	https://www.facebook.com/cmcreativecity/	チェンマイ市と協働
2022年8月27 日、9月3日	山形市	やまがた市民映画学校×野外上映 会	https://www.creative-yamagata.jp	市民に良質な映画に親し んでもらうことを目的に 市内各所で開催
2022年 9月11日	鶴岡市	第8回庄内酒まつりオンラインイ ベント開催	http://sakematsuri.shonai.net	臼杵市と連携

国内のユネスコ創造都市の主な取組④ (2022年度 (2022年4月～2023年3月))

日時	(主催)自治体	内容	関連URL	備考 (他自治体との協働等)
2022年 9月18、19日	鶴岡市	鶴岡YEGオータムフェスティバル開催 (ユネスコ食文化創造都市ミーティング、つるおか麺フェス)	http://www.creative-tsuruoka.jp	臼杵市と連携
2022年9月22日～26日	臼杵市 (主催：スローフードインターナショナル、トリノ市、ピエモンテ州)	Slow Food Nipponの協力のもと、イタリアのトリノ市で開催されるTerra Madre Salone del Gustoへ参加	https://2022.terraramadresalonedelgusto.com/	
2022年 10月8日	鶴岡市	酒井家庄内入部400年記念式典開催	http://www.creative-tsuruoka.jp	
2022年 10月8～10日	金沢市	KOGEIフェスタ！ 金沢の工芸を見て、触れて、楽しむイベント 伝統工芸士による制作体験指導等を開催	www.kogei-festa.jp	
2022年10月22日～11月13日	名古屋市	「やっとかめ文化祭」 時を巡り、文化を旅するまちの祭典	https://yattokame.jp/	

国内のユネスコ創造都市の主な取組⑤ (2022年度 (2022年4月～2023年3月))

令和4年8月
CCNJ創造政策
セミナー資料

日時	(主催)自治体	内容	関連URL	備考 (他自治体との協働等)
2022年 10月23日	鶴岡市	つるおか伝統菓子（笹巻・とちもち）シンポジウム開催	http://www.creative-tsuruoka.jp	
2022年 10月29日	山形市	やまがた創造都市国際会議 2022「デザイン×映画～創造性の相乗効果～」	https://www.creative-yamagata.jp	ユネスコ映画都市のブラッドフォード、ユネスコデザイン都市の神戸市と連携して実施
2022年 11月	臼杵市	食関連ドキュメンタリー映画祭の開催	https://gastronomy-usuki.com/	
2022年 11月3日～11 月20日	名古屋市	なごや日本博事業 「ストーリーミング・ヘリテージ 台地と海のあいだ」 歴史と現代を往来するアート・プロジェクト	https://streamingheritage.jp/	左記事業についてはオーストラリア、ジロング市の学生と協働（予定）
2022年 11月10日	臼杵市	食文化シンポジウムの開催 (パネルディスカッション等)	https://gastronomy-usuki.com/	大分県、創造都市ネットワーク日本 (CCNJ) 国際ネットワーク部会と連携

国内のユネスコ創造都市の主な取組⑥（2022年度（2022年4月～2023年3月））

令和4年8月
CCNJ創造政策
セミナー資料

日時	(主催)自治体	内容	関連URL	備考 (他自治体との協働等)
2022年 11月18日	鶴岡市	第5回食文化による郷土づくりカンファレンス開催	http://www.creative-tsuruoka.jp	会員自治体等90団体
2023年1月29日～2月5日	浜松市	浜松国際ピアノアカデミー2023（世界的に活躍するピアニストの育成及びピアノを楽しむ市民向けの講座の開催）	https://www.actcity.jp/hac/am/PianoAcademy	浜松市教育委員会、公益財団法人浜松市文化振興財団他団体との共催
通年	山形市	映像で山形ルネッサンス（映像制作を通して山形の文化と魅力を見直すと同時に、地元映像クリエイターを支援するプロジェクト）	https://www.youtube.com/channel/UCQ6hP3wJAKKN6B3h5CS-XBA	過去作品は「ユネスコ創造都市やまがた」公式YouTubeチャンネルで公開
通年	神戸市	「デザイン都市・神戸」の取組み、デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）での取組みなど	https://design.city.kobe.lg.jp/	